

【平成 25 年度・ミクロ経済学 I・課題 4】

☆ 平成 25 年 12 月 17 日もしくは 18 日 講義開始時

【問 1】 価格弾力性に関する次の設問に答えなさい。

- (A) 市場の需要関数が、次の図のように示されている。この需要関数上の α と β の 2 点間での需要の価格弾力性を計算しなさい。



- (B) 需要関数が $Q_d = 22.5 - 1.5P$ であった。この需要関数を図に描き $P=12$ の場合と $P'=4$ の場合の需要の「点の価格弾力性」を求めなさい。
- (C) 需要関数が完全に価格弾力的な場合の図を描きなさい。
- (D) 需要関数が完全に価格非弾力的な場合の図を描きなさい。

【問 2】 完全競争市場における需要関数・供給関数が以下のように与えられている。この場合について、後の設問に答えなさい。(計算プロセスも記述し、必要であれば、小数点以下第三位で四捨五入して解答すること。)

$$\text{供給関数: } Q_s = -6 + 2P$$

$$\text{需要関数: } Q_d = 30.6 - 1.7P$$

- (1) 需要関数・供給関数を経済学の慣行に従ってグラフに描きなさい。その際、グラフの縦軸と横軸を正しく定めること。
- (2) この市場が均衡状態にあるとき、均衡価格と均衡数量を求めなさい。(グラフにも書き入れること。)
- (3) 均衡点における、需要の点の価格弾力性を求めなさい。
- (4) 今、この市場に政府が介入し、 $P^{\#} = 15$ を下限価格として設定した。この時、この規制は市場にどのように影響するかを述べ、どの程度、超過需要もしくは超過供給が存在するか求めなさい。また、実際に取引される数量はいくつになるか？
- (5) (4)の状態における消費者余剰・生産者余剰を求めなさい。